

あすのビジネスのヒント! PICK UP TOPICS

簡易無響室の紹介

■騒音テスト測定設備



簡易無響室は換気装置やモーターが発生する音を外部からの騒音や反響音に影響されことなく正確に測定するための設備です。この無響室の構造はパネル式で大きさは4m×4m×2.5mの内容積があります。性能は遮音特性:500Hz 62dB(A)、室内暗騒音:20dB(A)です。尚、騒音値も測定する計測器として1/1オクターブ分析機を内蔵した騒音計やFFTアナライザーを有しています。

デシベル(dB)「騒音」音に対する人間の感じ方は、音の強さ、周波数の違いによって異なります。騒音の大きさは物理的に測定した騒音の強さに、周波数の違いによる人間の耳の感覚の違いを加味し、騒音レベルとしてdB(A)で表示します。

■騒音の大きさの例

- 120 dB 飛行機のエンジンの近く
- 100 dB 電車が通るときガード下
- 80 dB 地下鉄の車内
- 60 dB 静かな乗用車/ふつうの会話
- 50 dB 静かな事務所
- 40 dB 図書館/静かな住宅地の屋
- 30 dB 郊外の深夜/ささやき声
- 20 dB 木の葉のふれあう音/置き時計の秒針音(前方1m)



お知らせ

■攪拌型送風機差止め請求に対する裁判所の決定について

平成15年6月26日 アルトピア社は、西邦電機製攪拌型送風機がアルトピア社の有する実用新案権を侵害するとして、大阪地方裁判所へ西邦製品の差止め等を求めた。平成15年11月20日大阪地方裁判所は、申立を却下する決定を下した。この決定に対しアルトピア社は、大阪高等裁判所に大阪地裁決定の取り消しと、あらためて差止めを求める、抗告申立を行った。平成16年4月20日大阪高等裁判所は、地裁決定を正当とし抗告を却下する決定を下した。このことによりアルトピア社実用新案権、「床下と天井裏の換気装置」登録番号第2550225号は事実上無効となった。尚、即時抗告を却下する裁判にたいして、さらに抗告をすることが出来ないため、アルトピア社の実用新案権を無効とした大阪高等裁判所の決定が最終決定である。

◎却下の理由

アルトピア社の実用新案は、この新案が提出される以前の考案を組み合わせることで、きわめて容易に考え付くことができたもので、この実用新案が無効であることが明らかであると判断した。

※弊社ホームページの最新情報「攪拌型送風機差止め請求に対する裁判所の決定について」から、大阪地方裁判所決定、大阪高等裁判所決定の判決の全文をpdfデータで見ることが出来ます。

NEWS

『住環境&ヘルスケア西日本2004』に出展しました。

- 会期:2004年5月27日(木)~29日(土)
- 会場:福岡国際会議場

西邦電機は、「九州発の新しい医・職・住の提案」をテーマに開催された、西日本地域の住宅・ヘルスケア産業の振興を促進する製品・技術展示&シンポジウム『住環境&ヘルスケア西日本2004』に出展。当社のブースでは、プロワー型の床下・天井裏換気システムをはじめ、ホームセキュリティシステムについても多くの反響がありました。

『第10回建築リフォーム・リニューアル&コンバージョン展』に出展しました。

- 会期:2004年6月23日(水)~25日(金)
- 会場:東京ビッグサイト 東1ホール



■西邦電機展示ブース ■多くの来場者に注目されました



■東京ビッグサイト

東京ビッグサイトで大規模に開催された『第10回建築リフォーム・リニューアル&コンバージョン展』。世界的な建築家の隈研吾氏らをコンセプトに迎え、内外の関係者やマスコミからも大きな関心を集めたこの展示会に西邦電機も出展し、床下・天井裏換気扇のトップメーカーとして、多くの方々の注目を得ました。約180を超えた展示ブースでは、日本の建築・住宅産業をリードする最新技術が紹介され、3日間でおよそ10万人もの動員を記録しました。

昭

和三年八月、テレビ、洗濯機、冷蔵庫のいわゆる「三種の神器」のフル生産にわたっていた大阪の松下電器産業は、「ホームポンプ」の生産を九州松下に移行することを決めた。

HISTORY OF S
西邦電機小史

第6回
「モーター製造全権掌握」

やがて大石は、洗濯機モーターの製造主任となり、大阪の松下電器産業で行われる会議への出席が増えた。会議は翌月の生産予定の打合せが名目だったが、実際は、納品したモーターの品質が厳しく問われる場だった。欠陥や問題点があった場合、製造の現場責任者の大石に対する厳しい指摘が相次ぐことになった。

当時の日本の家庭には、まだ井戸を利用する家庭が多く、モーターを利用したホームポンプへの需要は急増し、ポンプモーターの生産は、最盛期に達していた。大石がモーター部の主任となつたころには、生産が追いつかなくなっていた。モーター部には二〇〇人からの人員がいたが、ささいなトラブルが起こるだけで、納入が遅れてしまうという状況がつづいてきた。

やがて大石は、洗濯機モーターの製造主任となり、大阪の松下電器産業で行われる会議への出席が増えた。会議は翌月の生産予定の打合せが名目だったが、実際は、納品したモーターの品質が厳しく問われる場だった。欠陥や問題点があった場合、製造の現場責任者の大石に対する厳しい指摘が相次ぐことになった。

困り果てた事業部長は、現場主任の大石に相談をもちかけた。大石には、アイデアがあった。「私に考えがあります。二ヶ月の時間と、三〇万円ほどの予算をください。」

事業部長は、大石の申し出を了承した。大石は、三〇万円で台車を購入した。それは、モーターをストップしておくための「場所」の確保

大石は、三〇万円で台車を購入した。それは、モーターをストップしておくための「場所」の確保

大石は、三〇万円で台車を購入した。それは、モーターをストップしておくための「場所」の確保

暑中お見舞い申し上げます

平素は格別のお引き立てを賜り心よりお礼申し上げます。さて、今回のニュースレターでは、2つの新商品をクローズアップさせています。24時間換気サポートシステムおよびセキュリティ商品ですが、事前のPR活動の中で予想以上の反響があり、市場の関心の高さを実感いたしました。今後も新たなビジネスモデルのご提案に向けて、尚一層努力して参る所存でございますので、旧に倍するご高配のほど、宜しくお願い申し上げます。

平成16年 盛夏

西邦電機株式会社 代表取締役 大石龍也

●西邦電機オフィシャルニュースレター「ウインド・フロム・フューチャー」2004年夏第6号 ●発行日/2004年7月1日発行
●発行/西邦電機株式会社 〒818-0066 福岡県筑紫野市永岡1021-2 西邦ビル tel 092-928-6300 fax 092-928-6355



*最新情報はこちらで SEIHO-WEB www.seiho-sdk.co.jp

このニュースレターは、環境にやさしい大豆油インキ(SOYINK)を使用しています。



お客さまと西邦電機をつなぐコミュニケーションペーパー



【24時間換気サポートシステム】 ハイブリッド・ブロー+システムコントローラー新発売。

24時間対応が決め手となる天井裏換気をサポートする、画期的なシステム

西邦電機では、「ハイブリッド・ブロー HB-240」に「システムコントローラー」をプラスした、天井裏の24時間換気サポートシステムを新発売いたします。このシステムにより、室内の負圧化に対応するとともに、天井裏の結露防止や熱気排出など、住まいの環境を更に改善できます。

24時間換気サポートシステムの効果

① 天井裏から室内へのホルムアルデヒド流入を防止

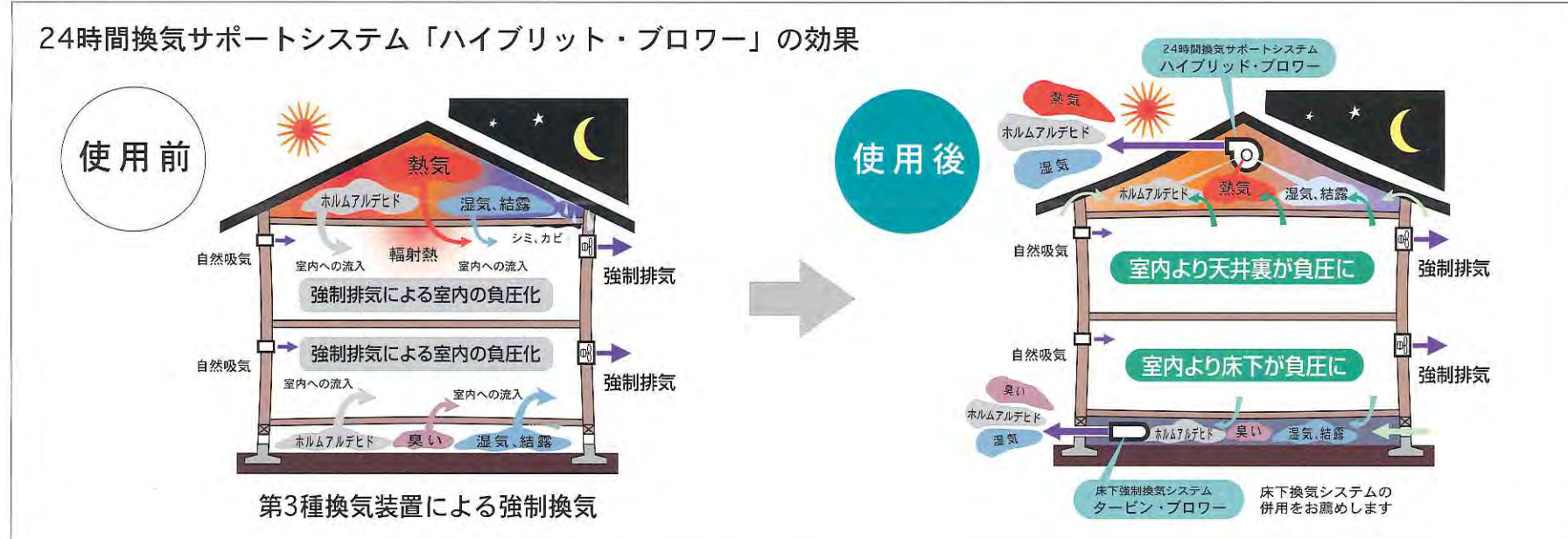
24時間換気システムによる室内の負圧化「第3種換気」に対応しています。
(詳しくは当社ホームページ「住まいの換気マメ知識」をご利用ください。)

② 天井裏の結露を防止

昼/夜、冷房・暖房の入切による温度差によって、天井裏や壁内部の湿気が結露になります。結露は合板や木材を腐らせ、家の寿命を短くします。またカビやダニの発生の原因にもなります。特に軽量鉄骨構造の建築は熱伝導率が高く、結露がおこりやすい構造になっています。

③ 天井裏の熱気を排出

真昼の天井裏の温度は50～60度にもなります。最上階の部屋の冷房が利きにくいのは天井裏熱気の室内流入や、熱せられた建築材の輻射熱によるものです。部屋にこもった熱気のために冷房を過剰使用してしまい、電気代のアップにつながります。



24時間換気サポートシステムの特長

① 新設計、高性能2速モータ(高性能ベアリング採用)

- 強運転時: 強力な静圧で排気します。
- 弱運転時: 静音運転(騒音23dB) 低消費電力(13W)

② システムコントローラー SC-240

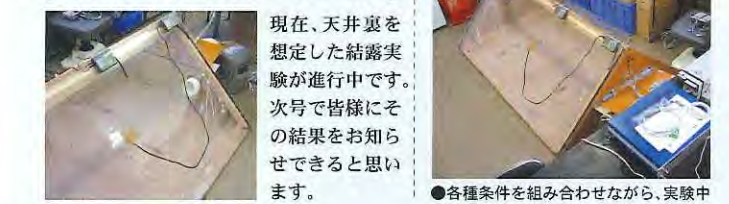
- 温度センサーで天井裏の温度を感知し、強弱切替運転。
- 結露除去に効果的な結露モード付。
- インテリアにフィットするシンプルな薄型設計。

■ハイブリッド・ブロー HB-240 仕様

品番	HB-240			
	50 Hz		60 Hz	
定格電圧	AC100V			
消費電力	● 25 W	● 13 W	● 30 W	● 13 W
換気能力(※1)	● 240 m ³ /h	● 115 m ³ /h	● 235 m ³ /h	● 115 m ³ /h
静圧	● 150 Pa	● 50 Pa	● 170 Pa	● 55 Pa
騒音(※2)	● 41.5 dB	● 22 dB	● 41.5 dB	● 23 dB
換気有効面積	8～10坪/台(※3)			
本体標準価格	オープン価格(※4)			

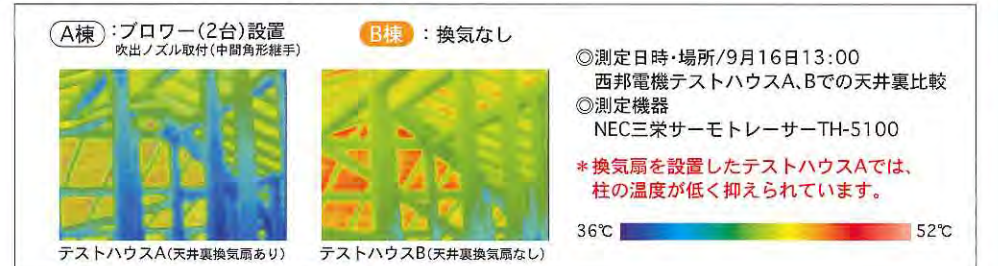
(※1)測定方式:ダブルチャンバー方式 (※2)吐出口から45°、1m地点で測定 (※3)設置場所の状況によって異なります。(※4)価格はオープン価格です。工事込販売価格は施工内容・部屋の構造・各種付帯工事によって異なるため販売店が独自に定めております。詳しくは販売店にお問い合わせください。

【天井裏結露実験】

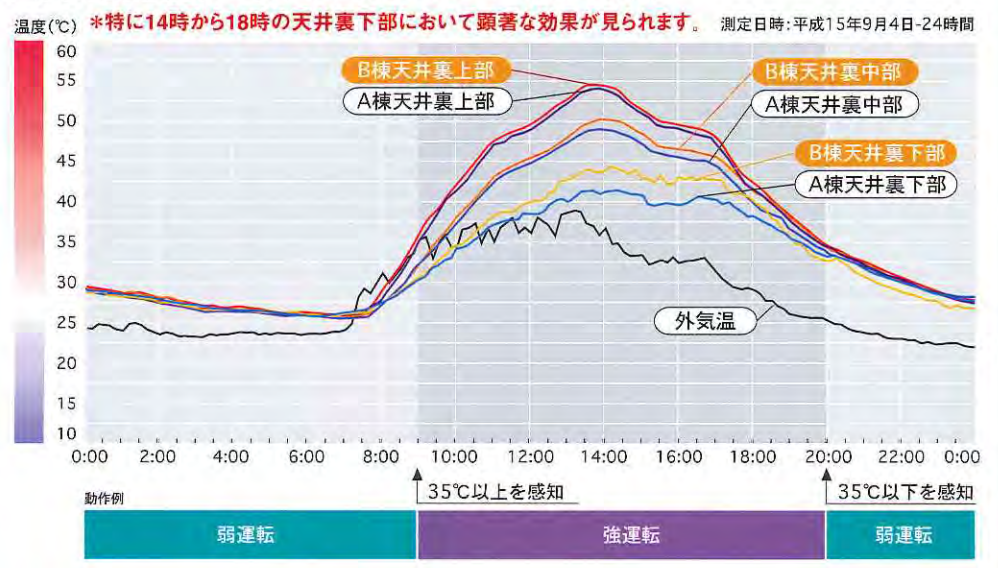


DATA FILE

■サーモグラフによる温度比較



■天井裏温度データ(24時間換気サポートシステム効果)



セキュリティシステム『ライフ ディフェンス』発売開始

空き巣、強盗、殺人・・・増加する犯罪と低下する検挙率。西邦電機では、「自分の家と家族の安全は自分で守る時代」に対応する、万全のセキュリティシステムを発売いたします。

1 安心

セキュリティシステム「ライフ ディフェンス」を備え付ければ『安心』です。家においても、遠くにおいても「ライフ ディフェンス」は24時間、大事な家族、家をガード。最大9ヶ所設置した監視センサーに異常があったらサイレンを鳴らし、威嚇します。携帯電話、勤務先など8ヶ所までの連絡先に自動通報をいたします。

●リモートコントロール&リモートチェック

「ライフ ディフェンス」を起動、解除することはいつでも、どこからでもOK。アラームの状態をチェックし、家の内部の音を聞くことも、会話をすることも出来ます。

●停電でも安心

急な停電や、外部から電源を切られても内蔵バッテリーで警戒体制を継続します。メモリーも保護されます。

2 簡単設置

●無線システム

「ライフ ディフェンス」のセンサーはすべて無線です。面倒な配線は必要なし。取付は簡単。設置したその日から『安心』をお届けいたします。

3 管理費不要

通報に対し警備会社が駆けつける管理契約型ではありません。自主機械警備システムですので管理費はかかりません。

鍵周辺用簡易タイプ 防犯対策フィルム(A3サイズ)

空き巣など住居への不法侵入の約70%は「ガラス破り」を手口としています。西邦電機では、貼るだけでガラスを強化できる『防犯対策フィルム』もご提案。『ライフ ディフェンス』と併せて、二重の防犯対策をお勧めいたします。

施工前: ガラスは簡単に割れます。

フィルム施工後: 防犯フィルムを貼るとハンマーで打ち付けたとしても、簡単には貫通しません。

防犯対策フィルム フロート板ガラス用 GBF-2J 水貼りタイプ

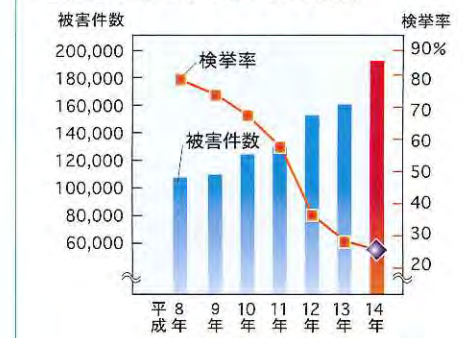
防犯対策フィルム 型ガラス用 KGF-2J ドライ貼りタイプ

このステッカーを貼ることで泥棒に犯行意欲をなくさせます。

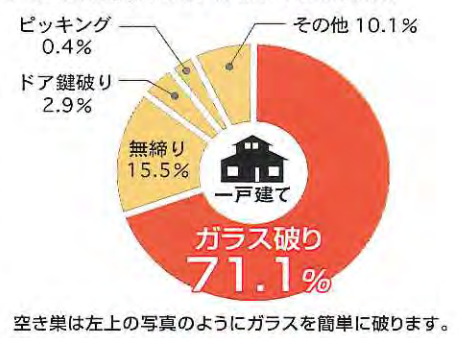
防犯装置 警戒中 防犯装置 警戒中

DATA FILE

■侵入盗件数の推移(住宅対象)



■よくある侵入方法(平成14年警視庁資料)



安心のホームセキュリティシステム

Life Defense

●本体ユニット SS-700A

センサーからの異常通報を受信するとプリセットされた8ヶ所までの連絡先に電話で異常を知らせます。

●リモコン RC-2JH

ライフディフェンスを無線でリモートコントロールします。

(1)緊急時の通報
(2)外出時の警戒
(3)在宅時の警戒
(4)帰宅時の解除の切替がワンタッチでできます。

●警告灯付サイレン LD-96

異常があれば大音量サイレンと警告灯を点滅させ侵入者を威嚇し、撃退します。[有線]

●人感センサー PIR-2J

警戒中に侵入者が家の中に居ると赤外線で感知し、通報します。[無線]

●窓・ドアセンサー DS-2J

警戒中に窓・ドアが開けられると自動通報します。[無線]

基本セット価格 オープンプライス

基本セット+各種センサー、リモコンなどの増設も可能です。

増設用オプション

●ガラス破壊センサー GB-2J
窓ガラスの衝撃や振動を感知[無線]

●煙センサー SM-2J
発煙を高感度に感知[無線]

●ガス漏れセンサー GA-2J
天然ガス(LNG)・石油ガス(LPG)の漏れを感知。プザー内蔵(AC100V)

●ペンダント型医療ボタン PT-2J
お年寄り・病人の緊急発信用[無線]

商品の価格はオープンプライスとなります。工事込販売価格は施工内容・部屋の構造・各種付帯工事によって異なるため販売店が独自に定めております。くわしくは販売店にお問い合わせください。

SEASONS COLUMN

風と住まい

「木造建築物の劣化について」

住宅産業に携わる識者のリレーコラム

SUMMER EDITION

地 球環境に対する負荷の軽減が求められている現在では、住宅においてもローだけでなく、ストックとして考えていかなければならない時代になっています。

これまで住宅は、二五・四〇年で解体されることが多かったのですが、社会資産として、住宅も六〇年ないし一〇〇年の耐用が望まれるようになってきました。

木造建築物の耐久性を考える場合、構造物である木材の劣化を防止することが何よりも重要です。木材の劣化現象の発生は、害虫、結露、カビ、雨漏りなどの原因により発生しますが、中でもシロアリによる被害が大きな割合を占めています。また、こうした木材の劣化の多くが床下に発生している点も見逃せません。床下環境を健全に保つことは、住宅を長持ちさせる上で大変重要な要素です。

技術の進歩により、長持ちする住宅が建設されるようになっていますが、建設後の正しい維持管理、住まい方が、その寿命に大きな影響を及ぼします。その点では、人間の一生と同じではないでしょうか。

名古屋工業大学教授 工学博士 水谷章夫氏

「健康住宅」についての様々な研究活動や人材育成、情報発信などを行い、行政や企業などにも働きかける公益的な存在であるNPO法人「日本健康住宅協会」の会員としても活躍中。

NPO法人 日本健康住宅協会
http://www.kjknpo.com